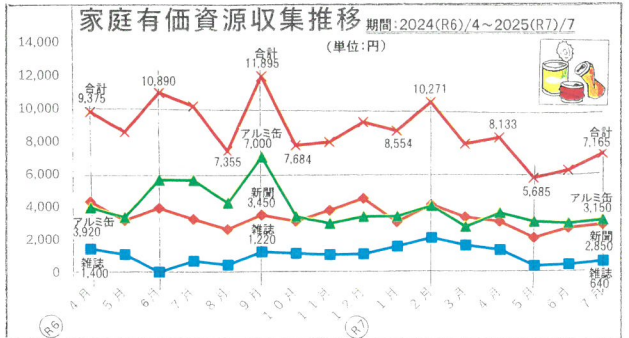


★2007年(平成19年)4月に始めた、家庭有価資源の収集(毎月第2・4水曜日)は、今年で18年目になりました。町内会の活動費の一部皆さんに家庭用品や防災グッズなどで還元しております。★2020年(令和2年)頃から「コロナ禍」があり、中国への段ボールが取りやめになったりして、毎月平均2万数千円(年間25万4千円)がここ数年一気に毎月平均一万円を切るようになりました。お金にならない市への収集や他の業者への「出し」はないと思いますが、下のグラフのように、昨年の9月頃より、次第に収集金額が減少しております。アルミ缶、新聞紙(購読が少なくなっています)が収集に一度し協力をお願いいたします。★今年の還元品は、まさかの時に役立つ、防災グッズの「缶」を9月末まで各戸一個ですが配布いたします。7/11期待。



合計—新聞・雑誌・アルミ缶 R6/9月の11,895円をピークに、R7/7は7,165円と次第に減少傾向にあります。せめて毎月1万円台に... ご協力をよろしくお願いします。

配布予定の緊急用ホイッスル

話の種 白内障手術の「眼内レンズ」のヒントは...

★最近目が見えにくい、疲れやすい・・・。「年をとって目が老化したのかも」と思っているあなた、ひょっとして、それって「加齢性白内障」かもしれませんね。個人差があるも誰でも年を取るにつれ、水晶体が濁る一種の老化現象で、眼内に老廃物が蓄積し、酸化・糖化するなどが原因。加齢性白内障はゆっくり進行します。すでに手術をされた人もおられますが...

★白内障は人類の歴史とともにあった古い病気、紀元前800年ごろインドで行われた手術の記録が残っている。針を眼球に刺し、水晶体を硝子体内へ落とす「墜下法(ついか)」だった。

日本にも14世紀半ばに中国を経て伝わり、「鍼(はり)」で眼球を突き、水晶体を硝子体内に脱臼させていた。麻酔もない時代、すごい痛みで、抗生物質もなく感染症もかなり多かったでしょう。当時の成功率は30%前後、この「墜下手術法」が1800年頃まで行われ、その後解剖で眼の構造がわかり、角膜を切って水晶体を取り出す「摘出術」が行われていた。

★現在行われている白内障手術は眼内レンズを装着する方法が主流である。そのきっかけは、第二次世界大戦中のある出来事だった。イギリス軍の戦闘機が被弾し操縦席の窓(鋼板)が割れ、その破片がパイロットの眼に刺さってしまった。それを取り出すことができなかったため放置していたが、炎症や拒絶反応等を起こさず眼の中に存在し続けた。その飛行機の窓の素材のプラスチック(PMMA アクリル樹脂の一種)は眼の中に入れても異物反応が起きないことがヒントになり、眼内レンズが開発された。

★手術は眼内の濁った水晶体を取り除き、6~10mmの創口から折りたたんで入れる柔らかい材料レンズが使われ、シリコンから現在は進化したアクリル素材が主流になっている。

★現在でも世界で一番多い失明原因は白内障で、約1400万人の失明者がいる。先人たちの努力、血のにじむような試行錯誤の結果、今では体に負担を掛けない手術法が確立し、日帰り手術が可能になった。(日本眼科学会他参照 西区井口・みやた眼科院長監修)

8月行事予定

- ◎4日(金)町常任委員会 中止
- ◎10日(日)町内一斉清掃
- ◎21日(木)おれんじカフェ ひまわり

- 草津東75才以上敬老会に 記念品配布
- 9月5日(金)町常任委員会
- 9月7日(日)草津オープンミュージアム
- 9月20日(土)「たれば防災」レク
- 9月27・28(土・日)草津八幡宮例大祭

有価資源収集日:27日(水)

神輿の担ぎ手募集

▼9月28日(日)に行われる草津八幡宮例大祭で、「神輿の担ぎ手」(男性)を募集中です。▼9月5日(金)までに、名前、年齢、足サイズcmをご連絡ください。直接 草津八幡宮 082-271-0441へ

敬老者名簿について

★東町主催の「敬老会」は中止します。★記念品をお配りしますので、今年12月末現在75才以上で、町内会加入の方(同居家族含む)の名簿を整えるため、町の役員がお伺いすることがあります。宜しくお願いします。

★日本特産種の大型セミ。近ごろ都市部では、アブラゼミが減り、クマゼミが増えているらしい。温暖化という理由以外に都市環境に適応しているクマゼミと鳥の攻撃をよけられないアブラゼミの生態にあるといわれている。厳しい淘汰がそこにある。

★参議院選挙の結果、既成政党が新興政党に票を食われた。これも自然現象なのか。それにしてもスリーアウトした責任者が、屁理屈をつけてその地位にしがみつくとのは見苦しい。★核被害を受け戦後80年目の今年、露が核をちらつかせた。米が直ちに原潜2隻を臨戦態勢に。核兵器廃止など吹く風。

★各地で40℃を超える猛暑日が続いているが、今地球は気候変動からすると、「氷河期のはじまり」に入っているが、大気中の温室効果ガス濃度が高いため、自然の周期より遅れている。一説では今すぐ二酸化炭素の排出を止めたとしても、今後5万年「氷河期」は起こらない予測という。ついに日本は亜熱帯気候になったのか...。暑い! あ〜たまらん〜。

★8/3広電が駅前大橋ルートを開通させる。来年にはのり場、段原を通る循環ルートができる。より都会化され利便性が向上し人口流出防止ができるか。★それにしても7月のカーブはお粗末だった。ヤフコメにはぼろくその投書があふれた。中日戦でアメフトもどきのユニフォームで戦っていたが、気分転換にはいいが、内容を、を変えなければ、このままでは、評論家の予想通りになる。巻き返せ! (写真:草津東三丁目にて)

電話通訳・藤永ますみさん大活躍



左からアベノバ女史 藤永通訳松井市長 TSS-TV から転写

▼7月31日、広島市役所市長室で草津東三丁目

目在住の藤永ますみさんが、ロシア語通訳として大活躍。▼中央アジアにあるカザフスタン共和国の NGO 事務局長のアベノバ女史が、松井市長を表敬訪問。席上藤永さんが、得意なロシア語で通訳役を立派にこなした。藤永さんは広大生の時、ウクライナに語学留学しており、芸は身を助(たすく)の通り要請があれば出向いる。▼カザフスタン共和国は、旧ソ連時代連邦共和国として領内が核実験場になり、女史は被爆者支援のため、広島を訪れ、8/6の平和記念式典にも出席予定。

話の種 知ってますかカタカナ英語 #1

- 1 レスポンス:反応、返事
- 2 アグリー:同意
- 3 ダイバシティ:多様性
- 4 サステナブル:持続可能
- 5 エビデンス:根拠、証拠
- 6 インセンティブ:成果、報酬
- 7 クライアント:顧客
- 8 レガシー:遺産、伝統
- 9 ライドシェア:相乗り
- 10 ステークホルダー:利害関係者
- 11 イシュー:問題、論点
- 12 アゼンダ:議題

*新聞やテレビによく出る「横文字」...時々掲載予定



この人を訪ねて#245

「医は仁術なり」を実践

戸田整形外科リハビリクリニック 院長

戸田直樹(とだ なおき)さん38歳

根っからの草津っ子。少年野球で肘(ひじ)を痛め、治した医療に感銘し、医者を目指す。勤務医の後、若くして独立開院に踏み切り、悩める「膝(ひざ)の痛み」患者を対象に地域医療に尽くしたい新進気鋭の若き医師だ。

4人に1人が膝(ひざ)の問題が

厚生労働省の発表によると、60才以上で膝を患っている人数は約3000万人と推定されており、これは日本人の全人口の4人に1人にあたる。テレビ、新聞等には連日飲み薬などで治る「宣伝するほど多いのだ。(ユニ)ユニ世代の2人に1人がひざ痛をかかえ、そのうちの約3割が老化現象としてあきらかに、特別な治療もしていないという。

ひざに痛みがあると、身体の動きが制限され、日常生活にも支障をきたし、自立して送ることができる健康寿命を縮めることになる。

草津クリニック街が実現

9月初旬に、西区草津東を横断する「宮島街道」下の線沿いに、「戸田整形外科リハビリクリニック」が、新築開業することになった。このため「宮島街道」をまたぐ草津陸橋を中心に数百メートル内に、「*クリニック」が4軒存在することになった。ちなみに内科4、眼科1、外科1、皮膚科1、歯科3軒。このため「宮島街道」改め、「草津クリニック街道」と呼ばれている人もいいる。(※クリニックとは、診療所外来患者を診療、治療し、入院設備無

整形外科医誕生

草津っ子の戸田直樹さんは、草津東一丁目目で父親克己さんの二人兄弟の長男として1986年(昭和61年)に生まれた。地元のルビー幼稚園、草津小学校、広島学院中・高等学校を2005年に卒業し、国立鳥取大学医学部医学科に入学。6年間の在学を経て、外科医になるべく同医学部付属病院整形外科教室に入局。2年後、鳥取・三朝温泉病院、鳥取赤十字病院、鳥取県済生会境港総合病院や松江市立病院などに勤務し、2018年平成30年広島市中区・浜脇整形外科病院に入職し、ひざ痛、スポーツ骨折などの診療、手術を担当した。

お医者さんになって地域に貢献を

「少年時代、野球(ひ)になり、リハビリを通して治ったことがあり、人体の不調、お医者さんが格好良く見えた(笑)こと、その一つとして「白い巨塔」をみて



戸田直樹(とだ なおき)

広島市西区草津東一丁目在住
戸田整形外科リハビリクリニック
同区草津一丁目8-29 1986/10
生まれ 草津小、広島学院中・高から
鳥取大学医学部医学科'11年卒業
同大学医学部付属病院整形外科
科学教室入局 鳥取赤十字、県済生会
境港等病院勤務後、'18年
広島・浜脇整形外科病院入職
'25年9月上記クリニック新築開
院予定 家族:妻、長女

興味を持っていました「それに人と話すことが好きで人に役立つ者になることが漠然とありますが思っていましたね」「母方の祖父が、草津東で長い間前田建材店として地域の人の役に立っていました。幼心にその姿を見ていて、人一倍の草津に愛着があります」と医師を志すようになったきっかけは地域愛を戸田さんは話した。

よく遊びよく勉強も

学生時代は「よく遊び、よく勉強しましたね。野球は続けていましたが、大学がある鳥取は、若者にとって遊ぶところがあまりありません。学生同士の麻雀と場外競馬でした」と。これは勝負動を養うに役立つと自分自身に言い聞かせていたそうです。「麻雀は手術をするとき、平常心で繊細な手先の動きを鍛えるには私にとってぴったりでした。半分冗談で言うのですが、整形外科医はバチバチの場面に遭遇することが多いのです。手術をする場合、一瞬の判断をする場合があり、間違えは悪いのですが勝負動を養うには競馬も役立ちました。むしろ学生ですから大金を賭けるわけはありませんよ(笑)」

専門バカは嫌だ

鳥取で色々な病院に勤務したことは、戸田医師にとって貴重な経験になった。医療が充実した地域ではない。整形外科について医師が足りず、種々の症状の患者さんが来院し、専門病院は遠くにある、「専門」なことはおられない状況に比べ、おかげで、一人に対応できる能力が鍛えられ、戸田医師はなんでもこなせるようになった。広島市の浜脇整形外科病院では、専門分野がわかれており、戸田医師は主に、人口関節、半月板損傷、骨折スポーツ障害を専門に診療、手術を担当しさらに腕を磨いた。外来は火、木曜日を担当し、一日あたり200〜300人を診ていたとはびっくりだ。

膝(ひざ)の病気種類は

- ・変形性膝関節症・半月板損傷・膝動脈損傷
 - ・オスグッド・シュルツの病変・膝蓋骨炎
 - ・スポーツによる膝の慢性障害・膝蓋骨炎
 - ・腓(ひ)骨神経麻痺・関節リウマチ他
- 患者によりベストを選ぶ

「ひざに関する整形外科医になってよかった」と戸田さんは話す。他の科と違い、患者の症状によって治療への対応、裁量が変わるという。患者によって要望、要求がみな違う。手術をして早く痛みを取りたい人、仕事をしながらこのあそびを続けたい人、ギブス希望する人など対応は、千差万別(せんさつべつ)だ。

患者さんは多種多様

競馬はバドック(競馬場)の下で競走馬の歩く姿を見て馬券を買ったが、患者さんを馬に見立てるわけではないが、戸田医師は、患者さんが診察室に入ってくるまでのような姿勢、表情かを見て、どこまでの程度



戸田クリのロゴマークの意
患者と真摯に向き
合う、安心感や
笑顔になるように

・前病院での患者さんを診る。コミュニケーションを欠かさない。手術に際しては完璧な準備をし、スタッフの協力のもと、TVの大画面未知子のセリフ(私は失敗しないので)を目指す。
・必要な手術、は提携先の病院で、戸田医師自ら行う。
・神代のみではないが、手術の成功と患者さんが早く治療されるように、3年前より、各地の神社を参拝して巡っている。

左:関係者のみの地鎮祭 24/11



建物は粗方出来上がり、準備が4月、25/8



4才の時両親に抱かれて



野球:ピッチャー&ショート



「医は仁術なり」を身をもって体現する
「医は仁術なり」とは、昔から日本に伝承された医療格言である。身体の病気を治すことに留まらず、人を思いやり、仁愛の徳を施すことが医の道徳の意味。今までそうだった、戸田医師は患者さんとは通じあふ、対応ではなく、患者さんの眼を見て会話し、当り前のことだが、訴え、要望、聞き取り、一緒に治療できるよ、努めること。」「年齢的には若いですが、今までの経験がこれから生きてくると感じます」と話した。期待しています。(編集 倉田和峰)

変形性膝関節症の治療方法
「変形性膝関節症」については戸田さんに治療要領を教えてもらおう。男女比は1対4で女性に多く見られ、高齢者になるほど発症する。主な症状はひざの痛みと水がたまる。原因は関節軟骨の老化が多く、肥満や遺伝子も関係する。肥満で膝に体重の25倍の重さが懸かるといふ。加齢によるものは、関節軟骨が年齢とともに弾力を失い、使い過ぎによりすり減る、関節が変形する。

治療方法 ①まずはリハビリをする(筋肉の訓練)
②初期の場合③アルロニ酸を注射(炎症を鎮め、潤滑油少し軟骨が再生)④ラジオ波治療(リハビリ)⑤骨を削り人工関節を入れる(※2年前の保険が適用、日曜りができる。痛みが半減し1年間開業する人が70%)

戸田医師は、次の資格を持っています。・日本整形外科学会の整形外科専門医・同会認定のスポーツ医・同会認定の運動器リハビリテーション医・難病指定医・身体障害者福祉法の指定医

戸田クリのPR 9月9日(火)オープン
新しく新築開業する「戸田整形外科リハビリクリニック」通称「戸田クリ」についてPRをしてもらう場所:広島市西区草津東一丁目8・29。宮島街道下の線田中耳鼻咽喉科隣、駐車場:前20台、裏18台。建物:鉄骨3階建。一階診察室、吹抜け待合室、レントゲン室、MRI室、一階リハビリ室。二階スタッフ室。設備:レントゲン、MRI、ラジオ波治療器、超音波エコー、骨密度測定器、各種リハビリ器具、スタッフ:看護師4名、理学療法士5名、レントゲン技師2名、受付6名、計16名体制。9月9日(火)開院予定。